# 令和4年度卒業論文

衛星間ネットワークによるスペースデブリの軌道推定技術の開発

Development of space debris orbit estimation techniques using inter-satellite networks.

産技 権左衛門

2023年3月17日

## 目次

| 第1章         | 序論          | 5 |
|-------------|-------------|---|
| 1.1         | これは section | 5 |
| 1.2         | 本研究の目的      | 5 |
| 1.3         | 本論文の構成      | 5 |
| <b>全本小部</b> |             | c |
| 参考文献        |             | o |

## 表目次

第1章 **序論** 

#### 1.1 これは section

#### これは subsection

内閣府が提出した第五期科学技術基本計画<sup>3</sup>において、仮想空間と現実空間が高度に融合したデータ駆動社会、所謂 Society5.0 が提唱された。Society5.0 では、これまで個別に機能していた生産、流通、教育、医療、金融等、異分野のあらゆるシステムが仮想空間を通じて協調・統合することで、多様な知識・技術の融合が行われる。またこれにより、産業構造の変革や技術革新を促し、社会の至るところで新たな価値が創出することが期待される。このような持続的イノベーション創出基盤を確立することは、今後の我が国の国際競争における優位性を確保し、ひいては経済成長の強力な足場となり得る。

翻って, ......

#### これは subsection

#### Algorithm. 1 疑似コードも書けます

- 1: **function** PRESOUCECODE(array)
- 2:  $max \leftarrow 0$
- 3: **for all**  $element \leftarrow array$  **do**
- 4: **if** element > max **then**
- 5:  $max \leftarrow element$
- 6: end if
- 7: end for
- 8:  $\mathbf{return} \ max$
- 9: end function

### 1.2 本研究の目的

本研究では~

### 1.3 本論文の構成

本論文ではスペースデブリ監視を目的とした衛星ネットワークを提案し,..... 第 2 章では, ..... の概念を導入する. 第 3 章では,..... を示す. 第 4 章では, ..... を行った結果を示す. .....

### 参考文献

- [1] 総務省,情報通信分野の現状と課題, https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r04/html/nd236800.html, 閲覧日: 令和 5 年 1 月 21 日
- [2] Shokri, Reza, et al. "Membership inference attacks against machine learning models." 2017 IEEE symposium on security and privacy (SP). IEEE, 2017.
- [3] 内閣府, 第五期科学技術基本計画, https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/5honbun.pdf, 平成 28 年 1 月 22 日
- [4] 五十嵐大和. "Beyond5G 推進戦略 6G へのロードマップ." IEICE Conferences Archives. The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers, 2020.